

## システムの概要

KAPシステムは 1972 年に自社の図面、原寸作業の省力化を目的に開発を開始しました。開発当初から、コンピュータ内に鉄骨構造物のモデルを構築しそのモデルからあらゆる出力物を得るという、いわゆる BIM の思想を盛り込み、以来 40 年にわたり鉄骨専用 CAD としてファブのニーズに対応した開発を行ってまいりました。その間、1983 年にシステム販売を開始して以来。販売会社数は 180 社、累計販売セット数は 500 セットを超える。KAP の数ある機能の中から、最近もっとも注目されているのが設備データ連動です。現場を介した鉄骨ファブ、設備業者間での設備データのやり取りは、煩雑を極めています。お互いが 3D の CAD を使用しながら、情報のやり取りは 2 次元で行われているのが通常です。単なるスリープ情報のやり取りではなく、現場における早期の「物決め」を目的としたデータ連動について開発を進めてまいります。